

令和5年度当初予算 総額 968.5億円 ※過去最大規模！

当面の課題への対応

- | | | |
|---|---|--|
| 1 新型コロナウイルス感染症
3.8億円
● 感染防止（保育所等における感染防止対策など）
● 地域経済活性化（住宅リフォーム促進事業など） | 2 原油価格・物価高騰
12.3億円
● プレミアム付商品券の発行
● 指定ごみ袋販売価格の据え置き
● 学校給食費の据え置き | 3 防災・減災
2.1億円
● 雨水管理総合計画の再検証・対策
● 内水対策検討会での検討・対策
● 災害情報配信システムの構築 |
|---|---|--|

未来飛躍への投資

人口減少対策

- | | | |
|---|--|---|
| 3つの完全無料化 14.2億円
1 保育料
2 中学生以下の医療費
3 妊産婦の健康診査費用 | 自然増の促進
自然減の抑制
社会増の促進
社会減の抑制 | 市民の健康増進 1.5億円
1 心臓・脳血管センターの整備支援
2 特定健診・大腸がん検診の受診率向上
3 こけないからだづくり講座の推進 |
| 大胆な移住支援 3.8億円
1 移住応援給付金の創設
2 未来の人材確保に向けた奨学金返還支援
3 移住・定住サポートセンター | | 定住の促進 1.3億円
1 産学官連携によるキャリア教育の推進
2 企業巡見による地元就職の促進
3 まちなか居住の推進 |

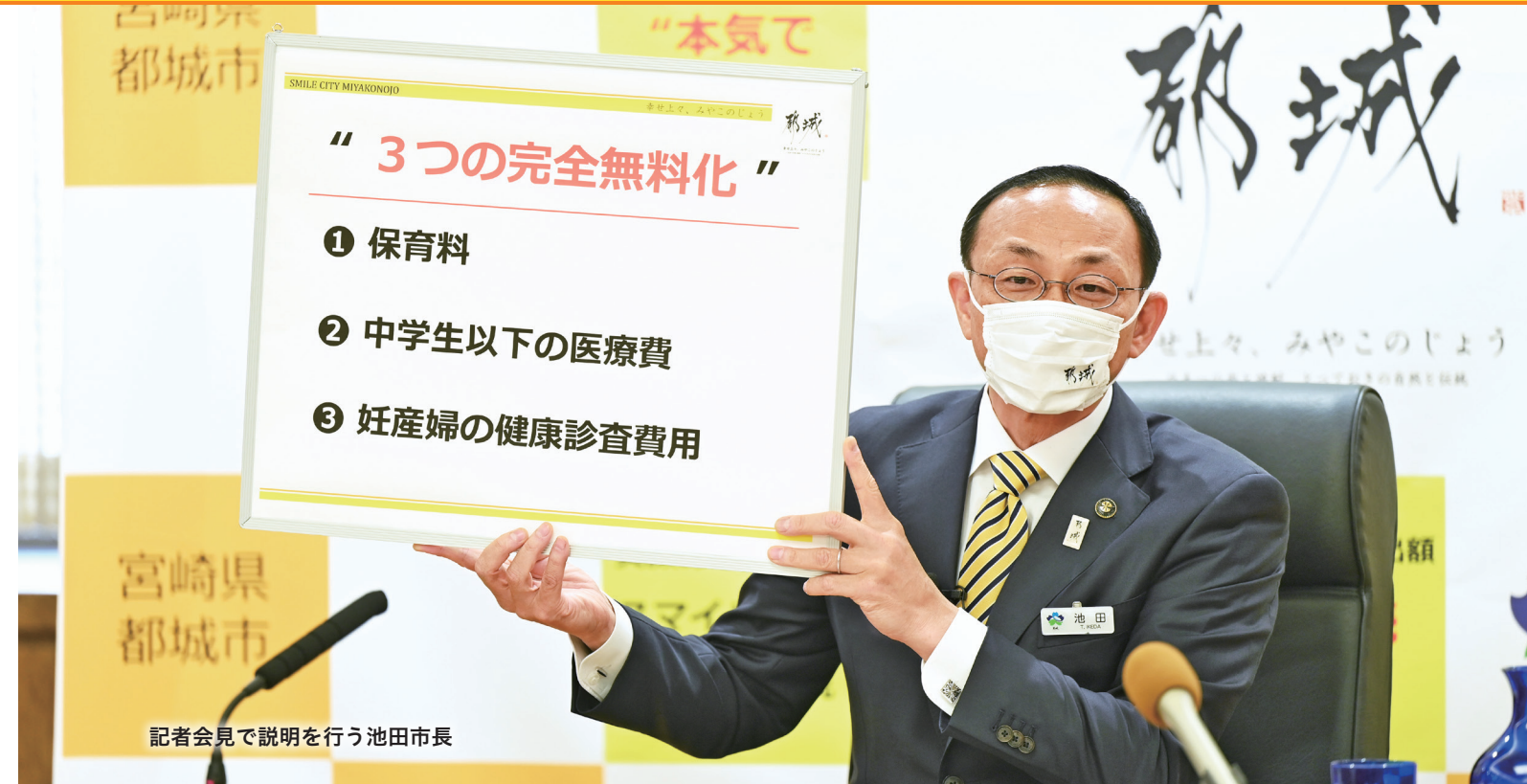
10年後に人口増加へ！！

D・S・PRのさらなる推進

- | | | |
|---|--|---|
| 1 デジタル化の推進
12.6億円
● 「書かない窓口」の導入
● 「リモート窓口」の導入
● 地区公民館へのWi-Fi整備 など | 2 スポーツによる地域活性化
48億円
● 山之口および都城運動公園の整備
● 地区体育館の耐震改修整備
● AIによる適性スポーツの提案 など | 3 対外的PRの推進
102億円
● ふるさと納税のさらなる推進
● 新「道の駅」都城オープン
● 関之尾公園のリニューアル など |
|---|--|---|

3つの宝をより一層輝かす

- | | | |
|---|--|---|
| 1 農林畜産業の振興
1.7億円
● 畜産業の振興
● 6次産業化の推進
● 森林整備の促進 など | 2 地の利の拡大
9億円
● 都城志布志道路の整備促進
● 基幹道路等の整備
● 工業団地・工業用地の整備 など | 3 人間力あふれる子どもたちの育成
2.5億円
● デジタル化の推進による学力向上対策
● ALT・小中学校図書館サポーターの配置
● 医療的ケア児支援事業 など |
|---|--|---|



記者会見で説明を行う池田市長

本市の令和5年度の一般会計当初予算は、総額968億5千万円（前年度比3.4%増）となり、過去最大規模となっております。主な内容としては、まずは『当面の課題への対応』として、①新型コロナウイルス②原油価格・物価高騰③防災・減災（台風14号対応含む）にしっかりと対応した上で、『未来飛躍への投資』として、①人口減少対策②デジタル・スポーツ・PR（D・S・PR）のさらなる推進③3つの宝をより一層輝かす、の各施策に積極的に投資してまいります。



特に、人口減少対策については、これまで以上に積極的かつ強力に施策を推進することとし、『自然増対策』として、保育料・中学生以下の医療費・妊産婦の健康診査費用の『3つの完全無料化』

『10年後に人口増加へ！』
『3つの完全無料化』

令和5年度当初予算が成立しました。今回は、予算の概要と主な取り組みなどを紹介します。

◎問い合わせ 財政課 ☎23-2113

本市のさらなる飛躍のためにー
令和5年度一般会計当初予算の考え方について、市長メッセージをお届けします。



都城市 ホームページ

池田 直永

令和5年4月
都城市長

全無料化』を実現するとともに、『社会増対策』として、国・県の制度を大きく超える『移住応援給付金』の創設などにより、『10年後に人口増加へ！』という目標達成に向けて、全身全霊で取り組んでまいります。

市民の皆様におかれましては、引き続きのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

スマイルシティ都城

未来飛躍予算



自然増対策「3つの完全無料化」
「3つの新規・拡充」
8・9ページに詳細を記載

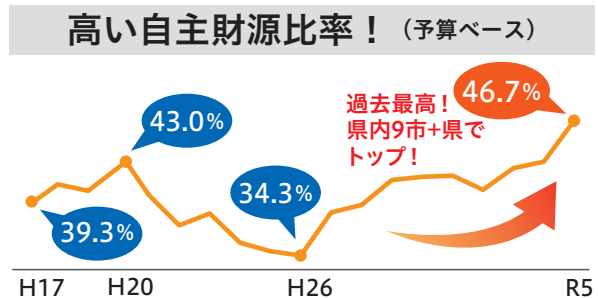
自然減対策「市民の健康増進」
都城市郡医師会病院心臓・脳血管センター整備への支援
新・予算額 1億2701万円
高度急性期の病床を増加し、地域完結型の医療を実現します。

AIを活用した特定健診および大腸がん検診の受診率向上対策
新・予算額 663万円
受診勧奨の対象者や最適な時期をAIで分析するとともに、受診心理に基づいたアプローチを行います。

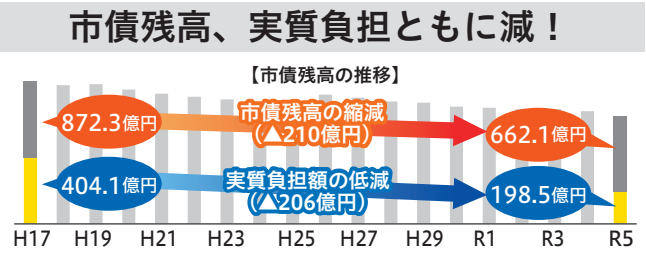
収入を増やし、借金を減らしつつ、しかるべき分野に投資する！

1 収入を増やす！

予算ベース	R3	R4	R5
市税	179.4億円	192.2億円	199.3億円
ふるさと納税の活用額	92億円	102億円	141億円



2 借金を減らす！



3 しかるべき分野に投資する！

- 飛躍する都城市の未来に投資！
- 10年後に人口増加へ
 - “D・S・PR”のさらなる推進
 - 3つの宝をより一層輝かす

社会減対策「定住の促進」
まちなか居住の推進
新・予算額 1億2487万円

奨学金返還支援
新・予算額 155万円
市出身の若者が大学などを卒業して本市に居住し、市内事業所に就職した場合、奨学金返還を支援します。

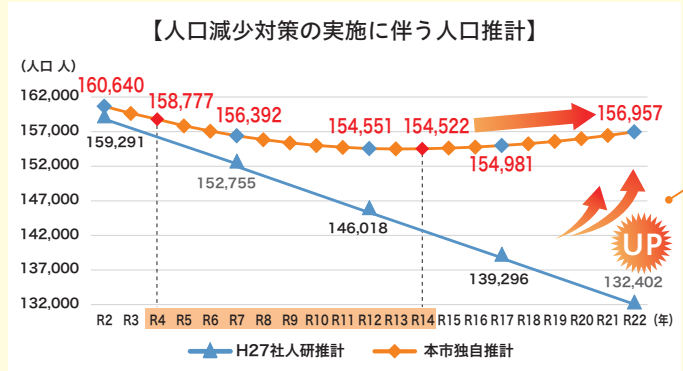
補助金

地域区分	世帯(単身)	子ども加算	(例)夫婦と子2人
中山間地域以外	200万円(100万円)	1人当たり100万円	400万円
中山間地域	300万円(200万円)	1人当たり100万円	500万円
国の制度	100万円(60万円)	1人当たり100万円	300万円

社会増対策「大胆な移住支援」
新・予算額 3億4300万円
世帯当たり100〜300万円の基礎給付金に加え、1人当たり100万円の子ども加算を設定。国・県を超える支援を実施します。

『10年後に人口増加へ！』

- 1 自然増対策 “3つの完全無料化” “3つの新規・拡充”
- 2 自然減対策 “市民の健康増進”
- 3 社会増対策 “大胆な移住支援”
- 4 社会減対策 “定住の促進”



徐々に減少傾向が緩やかに。そして、10年後には人口増加へ！
人口減少対策の実施により、社人研推計を大幅に上回る見込み！

結果が出る自治体経営

3つの日本一！

- ふるさと納税寄附額 3度の日本一！ (H27年度、H28年度、R2年度)
- マイナンバーカード交付率 市区別日本一！ 91.8% (R5年2月末現在)
- 農業産出額 2年連続日本一！ (R1、R2)
- 経済成長率 九州第1位！ 人口15万人以上自治体 14.4% (H24年度→R1年度 福岡市：14.0%)
- 地域経済循環率 県内第1位！ (H22、H25、H27)
- 企業立地件数 5倍超のスピード！ (R5年3月17日現在)
- 暮らしやすさで選ばれています！
- 住みたい田舎 ランキング 県内第1位！ (宝島社田舎暮らしの本)発表)
- 住みたい街 ランキング 県内第1位！ (大東建託)発表)
- 街に愛着がある ランキング 県内第1位！ (大東建託)発表)

新：新規事業 拡：拡充事業 テ：デジタル化関連事業 ふ：ふるさと納税活用事業 ※令和4年度および令和5年度補正予算を含む

子ども医療費助成を拡充

※1医療機関ごと

【現在】	0歳	小学校入学	中学校入学	中学校卒業
入院・調剤	無料			
通院	無料	200円/月*		

【新制度】	0歳	小学校入学	中学校入学	中学校卒業
入院・調剤	無料			
通院	無料			

②中学生までの医療費の完全無料化
新・予算額 6億1252万円
 本市の宝である、子どもたちの健全やかな成長を支援するため、令和2年4月から、未就学児の医療費無料に加え、小・中学生の入院・調剤薬

局費用を無料化し、通院費用を1医療機関ごと1月当たり200円としていました。
 令和5年度からは、子育て世代の医療費の負担をさらに軽減するため、中学校卒業までにかかる医療費を全て無料化します。

3つの完全無料化

①保育料、②中学生以下の医療費、③妊産婦の健康診査費用の無料化を実現しました。



◎問い合わせ
 保育料に関すること 保育課 ☎ 23-4894
 子ども医療費に関すること こども政策課 ☎ 23-2684
 妊産婦の健診費用に関すること 都城市保健センター ☎ 36-5661
 無料化制度の利用に伴う手続きの詳細については、24・25ページのお知らせ記事を確認ください

①保育料の完全無料化

新・予算額 6億6831万円
 国の基準では保護者が負担する0〜2歳児の保育料を、本市独自の施策として全て無料化します。県内の市では初の取り組みで、10万人以上の九州の市でも初の取り組みです。仕事と子育ての両立を支援し、現在子育て中の人も、これから子どもを持つことを考える人も、安心して子育てができる環境づくりを進めます。



また、就労している保護者が、認可外保育施設や企業主導型保育施設へ子どもを預ける場合や幼稚園の一時預かり制度を利用してする場合にかかる利用料についても、月額の上限額の範囲内で助成を行います。

③妊産婦健診の完全無料化

新・予算額 1億4180万円
 これまで一部自己負担のあった妊婦健康診査の無料化に加え、新たに妊婦歯科健康診査も無料化。このことで、妊産婦期に受診する健診費用が全て無料になります。
 ※国が示す健診メニューを受診する場合は無料の対象となります。
 また、指定医療機関以外で受診した場合、別途申請で助成を受けられます

無料となる妊産婦の健診

健診名称	健診時期	自己負担
妊婦健康診査	妊娠期	無料
新 妊婦歯科健康診査	妊娠期	
子宮頸がん検査	1回目の妊婦健診時	
産婦健康診査	産後2週間〜2カ月未満	

3つの新規・拡充

①出産・子育て応援事業

拡・予算額 1億3053万円
 妊娠期から子育てまで一貫して困りごとの相談に応じる「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施します。(妊娠届出時に5万円、出産後に5万円を交付)

②家事・育児への支援

新・予算額 71万円
 家事・育児に不安を抱える要支援家庭や支援の必要性が高い妊産婦などを支援。
 食事の準備や洗濯、掃除などの家事支援、おむつ交換や沐浴の補助などの育児支援を行います。



③母子生活支援施設整備への支援

新・予算額 2658万円
 社会福祉法人が取り組む母子生活支援施設の整備を支援します。

これまでの保育料のルールと市の無料化の比較

国の基準	本市の制度	無料になったら、どう変わる？
2歳児 第1子 → 全額負担	2歳児 第1子 → 無料化	第1子 月額 39000円 (年間約47万円) 第2子 月額 19500円 (年間約23万円) 年間約70万円負担軽減! ※最も対象者が多い負担階層で子ども2人を預けるケース
1歳児 第2子 → 半額負担	1歳児 第2子 → 無料化	
0歳児 第3子以降 → 無料化	0歳児 第3子以降 → 無料化	

当面の課題へも しっかり対応してまいります

①新型コロナウイルス感染症

- 感染防止策
 - 新型コロナウイルス対策費(保育所等) 【予算額 3830万円】
 - 新型コロナウイルスワクチン接種費 【※予算額 8億4794万円】

地域経済活性化策

- 住宅リフォーム促進事業 【予算額 1億1998万円】
- スポーツ・文化合宿の誘致 【※予算額 6671万円】

②原油価格・物価高騰

- プレミアム付商品券 【※予算額 11億3009万円】
 - 指定ごみ袋販売価格の据え置き 【※予算額 1416万円】
- 製造価格上昇相当額を市が負担することにより、実質的な値下げを実現します。



学校給食費の据え置き

食材料費の物価上昇相当額を支援します。
【状況に応じて補正対応予定】

③防災・減災

- 雨水管理総合計画の再検証・対策
内水対策検討会での検討・対策 【令和5年度補正対応予定】
- 令和4年の台風14号の被害状況を踏まえ、要因を解析し、効果的な対策などを実施します。
- 災害情報配信システム 【※予算額 8745万円】
- マンホールトイレの設置 【※予算額 98万円】
- 拠点機能形成車の車庫整備 【※予算額 1億1952万円】

地区体育施設の耐震改修整備
【予算額 1億8621万円】

五十市地区体育館の大規模改修を継続するとともに、祝吉地区体育館を早水公園内へ移転整備します。

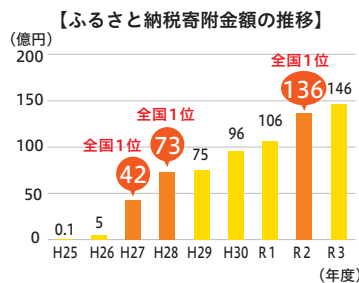
スポーツ体験教室
【予算額 70万円】

運動能力が著しく発達する時期の子どもを対象に、体験教室を開催し、運動習慣の形成を図ります。

AIによる適性スポーツの提案
【※予算額 448万円】

センサーやAIを活用して子どもの運動能力を測定し、スポーツに取り組みきっかけを提供します。

平成26年度から8年連続
増収かつトップ10入りは
本市のみ！



ふるさと納税のさらなる推進
【※予算額 81億9556万円】

対外的なPR、地場産業の振興を図るために、ふるさと納税をさらに推進します。

「肉と焼酎のふるさと・都城」の対外的PR

- プレオープン
令和5年4月22日(土)
 - ブランドオープン
令和5年10月(予定)
- 新たなランドマークとして、「道の駅」都城がリニューアルオープン！



【完成予想図】

**「道の駅」都城の
リニューアルオープンイベント**
【※予算額 1319万円】

本物の「肉と焼酎」に出会う体験「ミートツーリズム」を推進します。

関之尾公園のリニューアル整備
【※予算額 18億6354万円】

株式会社スノーピークが管理運営を行う南九州初のキャンプ場。「魅せる観光地」として誘客を図ります。

コンビニ交付サービス
【※予算額 1748万円】

リモート窓口
【※予算額 996万円】

総合支所や市民センターと本庁間で映像や音声などを共有する窓口を開設し、来所の負担軽減を図ります。

リモート窓口

書かない窓口
【※予算額 5166万円】

複数の窓口で手続きを行う際に、同じことを何度も書くことがないよう、署名のみを基本とし、負担軽減と滞在時間の短縮を図ります。

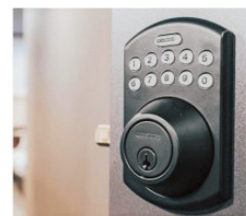
市民サービス

デジタル化の推進



公共施設等スマートロック予約システム
【※予算額 6066万円】

WEB上で施設の利用手続きができるとともに、予約後に受け取る電子錠の暗証番号で施設の利用ができるようになります。



公立保育所へのICTの導入
【※予算額 475万円】

モデル事業として、やまのくち保育所にICTシステムを導入し、帳票などのデジタル化を実現します。

自治体経営

ウェブ会議用ブース
【※予算額 803万円】

**リモートセンシングによる
森林境界明確化**
【※予算額 5031万円】

*リモートセンシングを活用し、地籍調査未実施地区の森林境界を明確化して、森林施業を促進します。
*撮影用の航空機を使って、航空レーザーで計測を行うもの

地域社会

デジタル技術の活用支援

- デジタル活用支援推進事業 【※ゼロ予算】
- デジタル技術活用支援事業 【※予算額 110万円】
- 産学官連携によるデジタル化の推進 【※予算額 800万円】
- スマートシティ推進協議会 【※予算額 800万円】

メディアリテラシーの向上支援
【※予算額 800万円】

特設サイト「Think都城」を開設。情報を吟味し、時間をかけて物事を掘り下げる「スロージャーナリズム」の概念に基づき、多様な価値観の存在に対して気づきを与えるような記事コンテンツを発信します。



電子契約の導入
【※予算額 25万円】

地域コミュニティのDX
【※予算額 677万円】

地区公民館にWiFi環境を整備します。

スポーツによる地域活性化

ブルペン・サブグラウンドの整備(都城運動公園)
【※予算額 2億7985万円】

ブルペン・サブグラウンドを新たに整備するとともに、防災機能を有する屋内競技場を建設します。

テニスコートの整備(都城運動公園)
【※予算額 8億1510万円】

山之口運動公園関連整備事業
【※予算額 31億7804万円】

山之口駅等の整備
【※予算額 3億3811万円】

国民スポーツ大会に向け、まちの玄関口となる山之口駅などをリニューアルします。



【完成予想図】



「3つの宝」をより一層輝かす

農林畜産業の振興

- 畜産業の振興
 - 都城産新規種雄牛の造成
 - 【新】予算額 240万円
 - 肉用牛担い手農家への支援
 - 【新】予算額 1635万円
 - 次世代乳用牛の育成対策
 - 【予算額 548万円
 - 養豚生産性の向上対策
 - 【予算額 990万円
 - 鳥インフルエンザ等の防疫対策
 - 【予算額 400万円
 - 森林整備の促進
 - 持続可能な森林づくり
 - 【新】予算額 3307万円
- 伐採跡地への再造林や未植栽地における地ごしらえを支援します。



重要施策の推進！

中心市街地の活性化

- まちなか居住の推進
 - 【新】予算額 1億2487万円

中心市街地の低未利用地などを活用した共同住宅などの建築や既存ストックのリノベーションを支援し、「まちなか」の居住基盤を整備します。
- 中心市街地活性化対策
 - 【新】予算額 1億1808万円
- まちなか活性化プラン事業
 - 【新】予算額 1億1424万円



- 6次産業化推進事業
- 「都城メンチ」プロジェクト
 - 【新・拡】予算額 2980万円

新たな地域ブランドとして、全国に発信する官民連携プロジェクトを展開します。



地の利の拡大

- 都城志布志道路整備関連事業
 - 【予算額 615万円

都城IC～乙房ICが令和6年度開通予定。都城ICから志布志ICまでの直結が目前に迫っています。
- 鷹尾上長飯通線(川東区)
 - 【予算額 3173万円

鷹尾上長飯通線と国道10号が交差する市場入口交差点に、右折車線を整備。慢性的な渋滞緩和を図ります。



中核施設開館5周年記念イベント

【新】予算額 200万円

中心市街地の魅力を改めて発信するとともに、さらなるにぎわいを創出するために官民連携のイベントを実施します。

中山間地域の振興

- 中山間地域振興策
 - 【新】予算額 307万円

地域に昔からある風景を楽しみながら歩く「フットパス」を、大学生や地域住民と一体となって実施し、中山間地域の振興を図ります。
- 中山間地域振興×デジタル化推進シンポジウム
 - 【新】予算額 52万円

デジタル化による地域活性化を図るため、シンポジウムを開催します。

地域の活性化

- 妻ヶ丘地区公民館の整備
 - 【予算額 1億5224万円
- 地域活性化事業
 - 【予算額 2001万円

地域の課題解決や活性化に向けた自発的な取り組みを支援します。

- 基幹道路等の整備
- 鷹尾都原線
 - 【予算額 2億5214万円
- 早鈴・岳下通線
 - 【新】予算額 4013万円
- 高木・広瀬線(広瀬工区)
 - 【新】予算額 1840万円
- 前田207号線
 - 【新】予算額 6852万円
- 母智丘通線
 - 【新】予算額 2287万円
- 今屋・今房線
 - 【新】予算額 810万円
- 養原644号線
 - 【新】予算額 523万円

工業団地・工業用地の整備

- 都城インター第3工業団地整備事業
 - 【予算額 4億1740万円

都城インター工業団地桜木地区の売りに伴い、新たな工業団地の整備に着手します。
- 小規模工業団地の整備
 - 【新】予算額 2723万円
- 民間主体による工業用地の確保
 - 【新】予算額 60万円
- 人間力あふれる子どもたちの育成
 - 【新】予算額 9207万円

ALTによる語学指導



市民サービスのさらなる向上

- 通学路における安全確保
- 通学路防護柵緊急設置事業
 - 【※】予算額 1999万円
- 原村・今町線(瀬之口橋)
 - 【予算額 7030万円
- 万ヶ塚・庄内線(丸野小工区)
 - 【予算額 3013万円

川の駅における自転車更新・トイレ洋式化

- 川の駅における自転車更新・トイレ洋式化
 - 【新】予算額 361万円

川の駅のマウンテンバイクやおもしろ自転車を更新するとともに、トイレの洋式化・足洗い場の整備を実施します。
- 市営東墓地におけるトイレの整備
 - 【新】予算額 1804万円



- 小・中学校図書館サポーター配置事業
 - 【新・拡】予算額 4259万円
- デジタル化の推進による学力向上対策
 - 小・中学校学習支援A・ドリル導入
 - 【新】予算額 6492万円
 - 小・中学校の教員授業用端末の整備
 - 【新・拡】予算額 1223万円



学校における医療的ケア児への支援

- 【新・拡】予算額 1853万円

学校に看護師を配置することにより、医療的ケア児の学びの場を整備します。

生理の貧困対策

- 【新】予算額 65万円

全小・中学校のトイレに生理用品を設置します。

宇宙産業の啓発推進

- 【新】予算額 200万円



その他の特色ある事業

カーボンニュートラル推進事業

- 畜産バイオマス発電の可能性調査
 - 【新・拡】予算額 1705万円

産業振興と人材育成・事業の承継

商工会事務局の体制強化

- 【新】予算額 1301万円

文化振興「特別展」の開催

- 市立美術館特別展「アルフォンス・ミュシャ」展(仮)
 - 【新】予算額 1200万円
- 都城島津邸特別展「島津荘(平安・鎌倉期の南九州と都城(仮))」
 - 【新】予算額 996万円